

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

主管課長職・氏名	企業振興課長 木下昇三
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

<p>企業集積と産学官連携について、イノベーションパークを拠点とした産学官連携や異業種連携を推進し、新たな価値が創造され、民間資金が集積する環境を構築し、企業集積を推進します。</p> <p>(1) inove (イノベ) 等への企業集積の促進と産業立地構想の策定 イノベーションパーク及び盛岡西リサーチパークへの企業誘致を促進するとともに、企業数の増加や誘致企業の成長に伴い、集積の加速化に寄与する次期企業誘致構想を策定します。</p> <p>(2) 産学官連携や異業種連携による価値の創造 イノベーションパークを拠点とした産学官連携や融合、共同研究、これらの研究成果を実践する場を提供することにより、inove (イノベ) への質の高い技術の蓄積と次代を担う人材を育てるとともに、金融機関等との連携によるファンド創成などの模索を進める必要があります。また、ICTを活用した付加価値の高い地域資源やサービスの提供により、企業の成長や起業を支援し、若者の雇用機会を創出します。</p> <p>(3) ICTを活用した地域情報化の推進 より迅速で、より正確な情報の伝達を図るため、ICTを活用した地域情報化の推進と、住民自治の確立のためのコミュニティ形成や防災時の情報の収集、伝達のため大学や企業等と連携のもと地域情報化方針等を検討するとともに、その構築を図ります。併せて、ICTの活用の促進を図るため、情報リテラシー向上のための人材育成を推進します。</p>

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 % IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数	18	20	21	23	25	26	C	
			20	19	-	-	-	12.5	
2	幸 福 単 位 % 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	B	
			40.4	40.4	-	-	-	13.8	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 % 03020100 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数	18	20	21	23	25	26	C	
			20	19	-	-	-	12.5	
2	幸 福 単 位 % 03020100 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	B	
			40.4	40.4	-	-	-	13.8	
3	暮ら し 単 位 回 03020200 産学官連携や異業種連携による価値の創造 セミナー、フォーラム等の交流事業の回数	0	12	25	35	54	70	A	
			20	44	-	-	-	62.9	
4	幸 福 単 位 % 03020200 産学官連携や異業種連携による価値の創造 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合	39.5	40.5	42	43.5	45	46	C	
			40.4	40.4	-	-	-	13.8	
5	暮ら し 単 位 % 03020300 ICTを活用した地域情報化の推進 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合	40.5	42.5	45	47.5	50	52.5	C	
			44	41.5	-	-	-	8.3	

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

主管課長職・氏名	企業振興課長 木下昇三
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<p>岩手県立大学を中心とした大学や研究機関の先進的研究と人材、滝沢市 I P U イノベーションセンター、盛岡西リサーチパークを中心とした企業の集積は滝沢市にとっての強みとなっています。人材育成や産学官、企業間、異業種などの連携を進め、市内企業の成長を図り、競争力の高い産業を育成させることにより、雇用機会の確保に繋げるため、人材育成事業や交流事業を実施しました。更には誘致活動を活発に実施し、企業誘致を図りました。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ inove(イノベ)や盛岡西リサーチパークへの企業誘致 ・ イノベーションセンターを拠点とした産学官連携、異業種連携、共同研究を進めるため各種の人材育成事業、交流事業 <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イノベーションセンターに2件、盛岡西リサーチパークに1件の企業誘致を行いました。盛岡西リサーチパークについては全分譲を完了しました。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>経済のグローバル化、日本市場の縮小による日本企業の海外展開、労働力不足、首都圏への若者の流出など、地方経済にとっては厳しい状況が続いています。一方で、人材や新しいビジネスの創出の観点から、地方進出や本社機能の移転の可能性を模索する企業の増加が予想され、これを機会と捉え地方のポテンシャルを生かした人材育成や研究開発、更には連携が必要となっています。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>盛岡西リサーチパークや滝沢市 I P U イノベーションパークへの企業誘致、新たな企業誘致の展開、また、産学官連携などにより商工業の振興、雇用機会の確保と新たな価値を創造し、何より若者の地域への定住のため競争力の高い産業を育成し、将来に向けた企業振興を推し進める必要があります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>滝沢市 I P U イノベーションパークへの企業誘致、新たな企業誘致の展開、また、産学官連携などによる商工業の振興、雇用機会の確保と新たな価値を創造し、何より若者の地域への定住のため競争力の高い産業を育成し、将来に向けた企業振興を推し進める必要があります。</p> <p>【引継事項】</p> <p>今後の方向性について、着実に実行していくこと。</p>	

